

# 平成23年度美祿市文化祭

11月3日(木)～20日(日)

この期間中は、市民の自主的な文化活動の発表の場として、生涯学習グループの皆さんの作品展示や発表、小・中学校文化祭、各種催し物など内容もりだくさんのイベントが行われます。また、生涯学習への関心をより高めるよう「生涯学習のまちづくり推進大会」も併せて行われます。

ぜひ、ご家族、お友達とお誘い合わせのうえ、お越しください。

数々の作品や催し物との「出会い、ふれあい、学びあい」を通して、あなたも何か始めてみませんか。

## 美祿市文化祭期間中の催し物

催し物	日時	会場
各種作品展示	11月3日(木)～6日(日) 9時～	市民会館・勤労青少年ホーム
芸能まつり	11月3日(木) 10時～	市民会館大ホール
中学校文化祭(作品展示・発表会)	11月8日(火) 9時10分～	市民会館大会議室・第3会議室・大ホール
小学校作品展	11月10日(木)～13日(日) 9時～	市民会館大会議室・第1～第3会議室
小学校音楽会	11月10日(木) 9時～	市民会館大ホール
囲碁大会	11月13日(日) 9時～	勤労福祉会館
謡曲大会	11月20日(日) 9時30分～	来福センター多目的ホール
吟道大会	11月20日(日) 9時30分～	秋芳体育館
将棋大会	11月20日(日) 9時～	勤労福祉会館

### 歴史民俗資料館特別展

よみがえった美祿線

開催日 11月3日(木)～27日(日) 9時～17時

★無料公開期間★

11月3日(木)～11月13日(日)

### 美祿図書館

古雑誌市

日時 11月5日(土) 9時～17時

小学生読書感想作品展

日時 11月5日(土)～13日(日)  
9時～18時※平日、9時～17時※土・日

絵本読み聞かせ

日時 11月12日(土) 14時～15時

## 生涯学習のまちづくり推進大会

開催日 11月6日(日) 開催場所 市民会館大ホール

11:30～ 受付  
12:00～13:30 音楽・ダンスまつり  
13:35～13:50 開会行事  
13:50～14:15 功績功労・花壇・啓発作品表彰・最優秀作品朗読  
14:20～15:10 小・中学生によるパネルディスカッション  
15:15～16:15 歌とピアノとフルートで奏でるハートフル講演会

演題『みずゞ・思いやりを歌う』

講師 山崎 凱千氏(県交響楽団音楽顧問)  
山崎 喜久子氏(フルート奏者)

音楽・ダンスまつり

コーラス・ダンス・創作バレエ

●創作バレエでは、東日本大震災からの復興をモチーフに構成され、復興を願う気持ちを表現する形となっております。

「私の夢、そしてそれを育む美祿市の未来」

市内の6校から児童・生徒6名のみなさんが参加して、自分の夢とこれからの美祿市について意見を交わします!

【参加する小・中学校】

豊田前中学校、秋芳南中学校、美東中学校  
重安小学校、別府小学校、鳳鳴小学校

問合せ先 美祿市文化祭実行委員会(社会教育課内) ☎0837(52)5261

# 病院だより32

## 血液透析センターの概要と透析疾患



美祢市立病院

泌尿器科部長

北原 誠司



自己紹介を申し上げます。  
私は宇部市出身、平成14年山口大学医学部卒業、同時に山口大学医学部泌尿器科学教室に所属し、県内の関連病院泌尿器科勤務の後、日本泌尿器科学会専門医取得（専門は腎移植、腎臓病、透析医療、泌尿器科一般）、平成21年4月に当院に赴任し、現在に至ります。

患者さん、ご家族のおかれました状況の問題解決も医師の任務と考え、かわられた皆さんの満足度を総合的に高めることを意識して日々の診療を行っています。

さて美祢市立病院の特長のひとつとして、血液透析センターでの透析療法が挙げられます。透析療法は腎不全の人に対する治療がほとんどですが、その他にも様々な病気の特に重症の人の治療に役立つことがあります。したがって透析療法は救急医療の切り札の側面もあり、血液透析センターが存在しているという事は腎不全の人以外にとりまして恩恵があると思います。

当センターは平成2年の美祢市立病院開院から12年後の平成14年に開設、治療を開始してあります。当病院におきましても県内のほとんどの他施設と同様に泌尿器科医師が

主に診療を担当しております（泌尿器科の開設に合わせて当センターも開設されました）。

透析センターの診療状況は図1に示すように平成14年の開設当初は他の病院で血液透析をされていた人が地元である当院へ移られた例が多かったのですが、現在では当院で治療を継続され、そのまま透析を開始される人の割合が多くなっています。

透析治療は血管に管を通して血液を体外に取り出して透析装置で不要物を除去し、また必要なものを加えた後に体内へ戻すという治療法ですが、患者さんの状況によって透析

図1 当院における透析患者数の推移

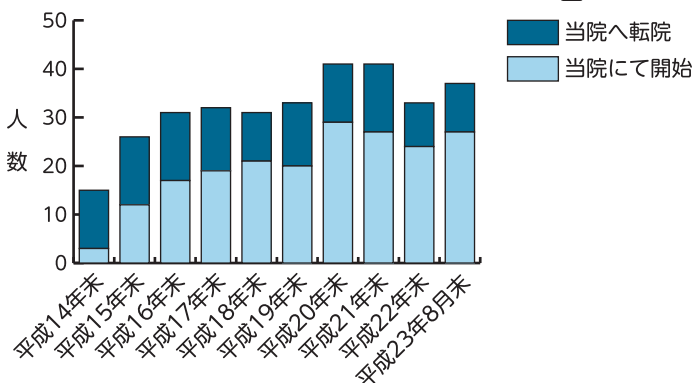
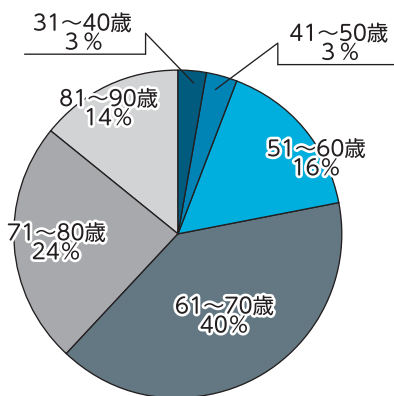


図2 当院における透析患者の年齢

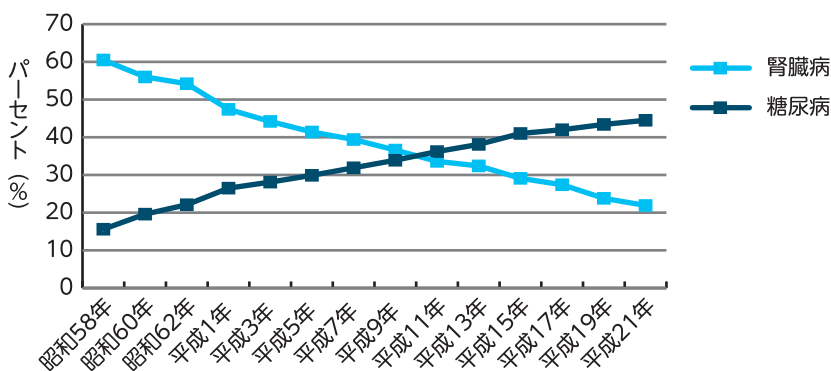
図2 当院における透析患者の年齢



療法が一定の期間で済む場合もあれば、週3回1回5時間定期的に必要な場合もあります。

図2に示すように当院での透析患者さんの年齢は61歳以上の人が約8割を占めておりますが、全国的に見ても同様です。理由は日本人の生活習慣病（主には糖尿病）の増加や長寿化と密接に関係しています。図3に示すように透析が必要なのは腎機能が悪化する原因として、以前は腎臓そのものの病気（腎臓病）が多かったのですが、治療の進歩に伴い減少しています。一方、糖尿病の合併症として、無症状に長い期間をかけて腎機能が悪化し透析が必要になる人の割合は毎年増加し、平成10年頃には腎臓病を逆転してしまいました。

図3 腎不全の治療で透析が必要となった原因(全国調査による統計)



早期に気付ければ腎不全、透析治療に至る状況を回避できます。糖尿病や腎機能の悪化の診断は症状がないため、尿、血液検査が必須です。自身が糖尿病か否か、あるいは予備軍か、また腎機能がどのくらいか、今後悪くなる可能性があるのかなど、是非検査を受けられチェックしてみてください。

問合せ先 美祢市立病院  
☎0837(52)1700